



東京文化発信
プロジェクト
東京から生まれる新しい文化の姿



TOKYO 2016
CANDIDATE CITY
日本だから、できる。
あたらしいオリンピック！
東京都

花のお江戸の町並みや暮らしを、
小粋な唄や楽しい噺で再現します！

大江戸寄席

平成21年9月22日(火・休)

午後2時開演(午後1時30分開場)

有楽町朝日ホール

〈演目〉

- 蜘蛛駕籠〜江戸の街道〜 三遊亭金兵衛
- 佃 祭〜江戸の祭〜 入船亭扇遊
- 黄金餅〜江戸をゆく〜 古今亭志ん輔
- 江戸の四季 柳家小菊
- 不動坊火焰〜長屋事情〜 柳家権太楼

全席指定

一般 3500円
子ども・学生 1000円
※未就学児は入場不可
※車いすスペースあり



古今亭志ん輔



入船亭扇遊



柳家権太楼



柳家小菊



「黄金餅」(こがねもち)

(あらすじ)

下谷山崎町の長屋で暮らすみそ売りの金兵衛。隣に住む願入坊主の西念が病気になるので何かと面倒をみてくれる。ある日、西念は金兵衛に、あんころ餅が食べたいので買ってほしいと頼む。そして、西念が、自分のため込んだ金を餅に包んで飲み込んでいたのをのぞき見てしまう。餅を食べた後、苦しみだして西念が死んでしまうと、腹にある金をなんとか自分のものにしようと考へ、焼き場で生焼けにして抜き取ることに決めた金兵衛は、遺体に付き添って下谷山崎町から麻布の木蓮寺へ、その後桐ヶ谷の焼き場まで。はたして金は無事に取り出したのでしょうか。

宝暦年間の随筆をヒントにした三遊亭円朝の人情噺。陰惨なストーリーに奇抜なギャグを放り込み、暗さを感じさせない大作に仕上げたのは名人・古今亭志ん生の功績です。

「下谷の山崎町を出まして」で始まり、麻布絶口釜無村の木蓮寺に至るまでの、ながーい言い立て。噺家はここをやりたいがために高座にかけるのです。

寂しい夜道をちようちんの明かり頼りに歩む葬列。現在なら秋葉原電気街を抜けて、日本橋三越の前を通り、ネオンきらめく銀座から麻布へ向かうんですから隔世の感がありますね。約13キロの行程をカンオケ担いで行くんですから大変ですよ。さらに桐ヶ谷の焼き場を目指す金兵衛は、白金を抜けて今の戸越銀座の手前まで。昔の人は健脚だったんですね。

主要な交通機関が足ですから、おのずと鍛えられたんでしょ。「ちよいと、伸(吉原)に繰り込もう」のひとことで徒歩1時間。フラれたらシヨックですよ。おアシが無駄になるとはこのことです。毎日10キロくらいは歩いてたようですから「健康のためにウォーキング」なんて考えられない時代ですね。

芸術の秋に向けて、これからは落語などの公演がめじろ押し。じっくりと名演を楽しんだ後に、金兵衛の歩んだルートをたどってみてはいかがでしょうか。メタボ対策には歩くのが一番。カンオケがなくてもシボウとはおさ

(文・三遊亭楽平 平成21年7月17日付朝日新聞夕刊「らくごよみ」より)

〈東京文化発信プロジェクトとは〉

東京文化発信プロジェクトは、東京ならではの芸術文化の創造・発信と、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベント、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。

東京文化発信プロジェクトに参加し、東京の文化を体験・創造してみませんか。



有楽町朝日ホール
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1
有楽町マリオン11F
※[有楽町駅]「銀座駅」から徒歩2分

チケット情報

東京発・伝統WA感動ホームページ <http://www.dento-wa.jp>

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

イープラス <http://eplus.jp> 0570-06-9993 (eコード 031050)

電子チケットぴあ <http://pia.jp/t> 0570-02-9999 (Pコード 397-041)

ローソンチケット <http://l-tike.com> 0570-084-003 (Lコード38081)

詳しい公演内容は「東京発・伝統WA感動」ホームページへ <http://www.dento-wa.jp>



東京文化発信
プロジェクト
東京から生まれる新しい文化の波

それはさながらひとり芝居のような——目にもあざやかなクライマックス!!

「道具仕立て芝居ばなし」

江戸東京博物館
常設展観覧券の特典付き!!

落語はいまを生きる伝統芸 多彩な登場人物を想像しながら聞いているうちに、いつの間にかあなたも江戸の長屋の住人に...!

[入場料]
全席指定：一般3,500円
子ども・学生(小学生~大学生) 1,000円
※未就学児入場不可
※車椅子用スペースあり

[チケット予約]
東京発・伝統WA感動ホームページ
<http://www.dento-wa.jp>
イープラス
0570-06-9993(eコード031050)
<http://eplus.jp/>
電子チケットぴあ
0570-02-9999(Pコード397-042)
<http://pia.jp/t>
ローソンチケット
0570-084-003(Lコード38083)
0570-000-407(オペレーター対応)
<http://l-tike.com>
江戸東京博物館ミュージアムショップ
(窓口販売のみ)



林家正雀「緞沢」

第一部は柳家権太楼の「芝浜」のほか、桂平治三遊亭歌武蔵らによる古典落語をじっくり味わっていただきます。
第一部は林家正雀の芝居噺。江戸から明治への転換期にあつて、伝統的な話芸に新たな可能性を開いた落語家三遊亭圓朝が、派手な衣装や道具を使い、歌舞伎の雰囲気を感じ込んだ新演出の落語で人気を博したものです。



柳家権太楼「芝浜」



桂平治

三遊亭歌武蔵

平成21年10月11日(日)
午後2時開演(午後1時30分開場)
午後6時開演(午後5時30分開場) 2回公演
江戸東京博物館ホール(都営地下鉄大江戸線西葛駅A4出口から徒歩1分/JR両国駅西口から徒歩3分)
※江戸東京博物館常設展開館9:30~17:30(観覧券の特典つきです。午前9時30分から、1Fホール受付にて観覧券をお渡しします。ホール受付でチケットをご提示ください。)

